

★ソフトウェアサイエンス研究会 (SS)

専門委員長 緒方和博 副委員長 中田明夫

幹事 小林隆志・肥後芳樹 幹事補佐 島 和之

◎本研究会は参加費が必要になりますので、下記を御参照下さい。

https://www.ieice.org/iss/jpn/notice/About_ISS_trial.html

日時 3月6日(火) 11:30~17:00

7日(水) 10:00~16:00

会場 南大東村立ふるさと文化センター

議題

6日午前

1. STAMP/STPA 単線列車例題に対する時間オートマトンモデル検査の適用と考察
○岡野浩三・小形真平・楊 盼 (信州大)
2. 凍結クロックを持つ稠密時間ブッシュダウンオートマトンの到達可能性のための記号ゾーン解析手法の完全性について
○結縁祥治・平岡 祥 (名大)
3. Binary code analysis for malware and its applications Mizuhito Ogawa (JAIST)

6日午後 (14:30~)

4. メソッドレベルセマンティックバージョンニングの提案 ○林 純一・肥後芳樹・楠本真二 (阪大)
5. 凝集度マトリクスを用いたメソッドのインライン化支援ツール
○山田悠貴・崔 恩瀾 (奈良先端大)・吉田則裕 (名大)・飯田 元 (奈良先端大)
6. 既存コードの再利用によるユーティリティメソッドの自動生成
○松本淳之介・肥後芳樹・下仲健斗・楠本真二 (阪大)
7. OSS 開発における品質に関する議論の可視化に向けて ○中西駿太・崔 恩瀾・飯田 元 (奈良先端大)

7日午前

1. プログラミング言語における同機能かつ異種イディオムの実態調査 ○田中紘都・裕本真佑・楠本真二 (阪大)
2. ソースコードの“自然さ”を用いたリファクタリング評価手法の検討 ○有馬 諒・肥後芳樹・楠本真二 (阪大)
3. 実行トレースの共通性分析に基づく機能開始点の特定 ○中野真明貴・野田訓広・小林隆志・林 晋平 (東工大)
4. 局所性鋭敏型ハッシュを用いたコードクローン検出のためのパラメータ決定手法
○徳井翔梧 (阪大)・吉田則裕 (名大)・崔 恩瀾 (奈良先端大)・井上克郎 (阪大)
5. 関数型言語における停止性検証のためのランキング関数の回帰推定
○村本大起・佐藤亮介・鶴林尚靖・亀井靖高 (九大)

7日午後 (15:00~)

6. システムテストに対するユーザの利用形態に基づく優先度付きテストケース生成手法の提案
○斎藤英美・利國 愛・中川雄一郎 (日立)
7. 品質保証からみた機械学習ソフトウェアの不確かさ 中島 震 (NII)

【問合先】

肥後芳樹 (阪大)

TEL [06] 6879-4111, FAX [06] 6879-4114

E-mail: higo@ist.osaka-u.ac.jp

◎最新の情報は SIGSS 研究会 Web ページで御確認下さい。

<http://www.sa.cs.titech.ac.jp/sigss/>